

今回の研修では、初診外来と救急車対応、入院患者さんの診療を中心に経験させていただきました。初診外来では、様々な主訴の方が来院され、悩ましい症例も数多くありましたが、症状が気になる場合には、その後の経過をみるために後日再来院していただくこともありましたが。普段の救急外来では外来の性質上、気になる症状の方でも、その後のフォローをかかりつけ医や専門外来の先生へお願いするため、どのような経過を経て改善したのか、悪化していないかなど、実際に会って、診て確認する機会が豊田では多くなかったため、この研修中に再診予約をとり、自らの目で患者さんの状態を確認できたことはよい経験となりました。前回来たときと表情が全く変わって元気な姿を見せてくださると、とても安心しました。

また、研修期間中には、在宅（訪問リハビリ、訪問看護、訪問診療）や、診療所、施設への同行をさせて頂き、初めて医師の視点から、それぞれの特性を知ることができました。

在宅に関しては、病院まで遠い、交通手段がない、ADL 上来院が難しい、など、様々な理由で在宅を利用される方がみえましたが、医療者が直接訪問することで、外来では分かりにくい患者さんを取り巻く環境や生活状況などを実際に見ることができ、患者さん・ご家族の真の需要を理解しやすいという印象を持ちました。在宅では、限られた資源・設備での対応となるため、急な処置などは難しい場合もありますが、患者さんご家族の視点からみると、何かあれば対応してもらえる、相談できる環境がある、という安心感があることで、施設入所ではなく、自宅での介護・看護が可能になっているのではないかと感じました。

作手診療所での研修では、患者さんが診察室に入り、顔なじみの先生の顔をみたときにぱっと安心した表情をみせる様子がとても印象的でした。診療所のスタッフの方々も、患者さんの名前をみただけで、どんな背景、どんな症状でかかっているかなどをしっかりと把握されており、雑談をうまく織り交ぜながら、診察に必要なことをサラリと聞き出して下さり、患者さんと人間関係がしっかりと築かれていることを感じました。

施設見学の中で最も印象に残ったしんしろ助産所は、助産所とは思えないほど手厚いサポートが産前から産後まであり、お産に関しても病院と連携をとるオープンシステムの採用やCTGのリアルタイム送信ができる、など安心できる体制が整っており、とても魅力的でした。お母さんたちに寄り添い、手厚い体制がとれるのも、地域ならではの感じました。

4週間という短い間でしたが、今まで述べた以外にも多くの経験をさせて頂き、それを通して地域医療・施設の特性を様々な方面からとらえることができました。また、新城市民病院の先生方には患者さんとの向き合い方、診療の基本を再度一からしっかり教えて頂き、大変感謝しております。日々の診療に関して反省することも多く、大変勉強になりました。ありがとうございました。